

会議の名称	平成24年度 第1回鳥海地域協議会
開催日時	平成24年5月10日(木) 午前10時30分～
開催場所	由利本荘市 鳥海総合支所 講堂
出席者氏名	地域協議会 名簿のとおり
欠席者氏名	〃
(会議次第) 1. 開 会 (振興課長) 2. 会 長 挨 拶 (松田会長) 3. 協 議 議事進行：松田会長 (1) 平成23年度地域づくり推進事業 事業実績について (2) 平成24年度地域づくり推進事業 追加事業について (3) その他 4. そ の 他 5. 閉 会 (振興課長)	
会議の経過	別紙のとおり

◆地域協議会 名簿

(委員19名)

議会議員、総合支所

区 分	氏 名	区 分	氏 名
地域協議会委員	佐藤一矢幸	【市議会議員】	佐藤 讓司
地域協議会委員	佐藤 重一		高橋 和子
地域協議会委員	眞坂 孝衛		
地域協議会委員	柴田 恭一		
地域協議会委員	佐藤 勝藏		
地域協議会委員	佐藤 敬助	【総合支所】	
地域協議会委員	鈴木 充	総 合 支 所 長	榊 豊昭
地域協議会委員	周防 彦宗	振 興 課 長	黒木 重徳
地域協議会委員	佐藤 明美	市 民 福 祉 課 長	佐藤 則亮
地域協議会委員	三浦 俊雄	産 業 課 長	新田 芳則
地域協議会委員	松田 訓	鳥海矢島水道事務所長	小沼 一
地域協議会委員	池田一由身	教 育 学 習 課 長	三森 文男
地域協議会委員	佐藤 貴子	主幹兼鳥寿苑施設長	村上 一弥
地域協議会委員	高橋 美幸	診 療 所 事 務 長	佐藤 泰男
地域協議会委員	三森 宏美		
地域協議会委員	高橋一馨		
地域協議会委員	鈴木一誠		
地域協議会委員	眞坂 好喜		
地域協議会委員	藤山 信夫		
		【事 務 局】	
		振 興 課	菊地 健
			村上 廣隆
			佐藤 有介

(会議の経過)	
第1回鳥海地域協議会	
平成24年5月10日（木） 午前10時30分 開会	
黒木 振興課長	<p>おはようございます。</p> <p>定刻になりましたので、まだみえてない方もおりますけども、ただ今から平成24年度第1回鳥海地域協議会を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、松田鳥海地域協議会会長が挨拶を申し上げます。</p>
松田会長	<p>おはようございます。</p> <p>平成24年度の第1回鳥海地域協議会開催しましたところ、大方のみなさんにご出席いただきまして、ありがとうございました。</p> <p>23年度もいろんな事業がございまして、その中で特に高橋さんが発表されたというのは、他の方から「いい発表だったな」と聞こえて来ますし、私自信も改めてケーブルテレビを見ながら良くまとまっているなと思って聞いてるところでございます。それぞれの地域で頑張っているみなさん方に心からお礼を申し上げたい、こう思います。</p> <p>なお、この新年度を迎えて早々に、春の嵐で大変な被害がありまして、気の毒だなと思っておりました。この鳥海地域の公的施設も何カ所かやられたという事でございますし、さらにはまた3月でございますけども、提鍋でああいう人身事故がありまして、未だに行方不明と気の毒に思っております。</p> <p>いろいろこうした自然災害も含めて、4月の波が非常に厳しかった訳でございますけどもその後みなさんの頑張りにて回復しつつあるなと思っております。</p> <p>特に今日は、23年度の事業をしっかりと確認しながら、新規もまた1つあるという事でございますし、そういう事で大変忙しい時期ですので、あまり時間を取らずに皆さんからいろんな発言をしてもらいながら、スピーディに進めて参りたいと思います。皆さん、よろしく願いいたします。今日はどうもありがとうございました。</p>
黒木 振興課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>協議に入る前に、今日出席の鳥海総合支所の管理職及び振興課の担当職員をご紹介します。</p> <p>最初にこの4月から就任しました榊総合支所長であります。</p>
榊 総合支所長	<p>榊です。よろしく、願いいたします。</p>
黒木 振興課長	<p>私の隣が佐藤市民福祉課長です。</p>
佐藤 市民福祉課長	<p>佐藤です。よろしくお願いします。</p>
黒木 振興課長	<p>隣が新田産業課長です。</p>
新田 産業課長	<p>新田です。よろしくお願いします。</p>
黒木 振興課長	<p>その隣が佐藤診療所事務長です。</p>

佐藤 診療所事務長	佐藤です。よろしくお願いします。
黒木 振興課長	私の後が村上主幹兼鳥寿苑施設長であります。
村上 主幹兼鳥寿苑 施設長	村上です。よろしくお願いします。
黒木 振興課長	次に、三森教育学習課長です。
三森 教育学習課長	三森です。よろしくお願いします。
黒木 振興課長	次に、小沼鳥海・矢島水道事務所長でございます。
小沼 鳥海・矢島 水道事務所長	小沼です。よろしくお願いいたします。
黒木 振興課長	前の方に事務局という事で座っております、菊地振興課主席参事です。
菊地 振興課主席参事	菊地です。よろしくお願いします。
黒木 振興課長	隣が、村上振興課主査です。
村上主査	村上です。よろしくお願いします。
黒木 振興課長	その隣が、佐藤振興課主査です。
佐藤主査	佐藤です。よろしくお願いします。
黒木 振興課長	<p>私が、振興課長の黒木です。よろしくお願いします。</p> <p>以上、このスタッフでよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>なお、時間を頂戴しまして榊支所長よりひとことご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
榊 総合支所長	<p>みなさん、おはようございます。</p> <p>この4月から鳥海総合支所長という事で、任命になりました榊でございます。地域協議会の委員の皆様には、どうかよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>今日は、24年度の第1回目の地域協議会にご出席を賜りましてありがとうございます。ひとことご挨拶を申し上げたいと存じます。</p> <p>委員の皆様方には、地域づくりをはじめといたしまして、市の行政運営に対しまして、ご支援ご協力頂いておりますことに大変ありがたく、厚く御礼申し上げる次第でございます。</p>

冒頭でございますが、皆様マスコミ等でもご承知の通り、この度鳥海総合支所で管理してございます支団の配備、小型ポンプ積載車2台につきまして、車検整備を怠ったうえ、分団に車検切れで出動させてしまった事に対しまして、誠に申し訳なく、市民の皆様にお詫びを申し上げる次第でございます。今後、再びこのような事が無いように努めて参る所存でございますので、何卒よろしくお願いしたいと思います。

今年は、ご承知の通り雪消えが大変遅れまして、いつになったら消えるものかと大変気がかりであった訳でございますが、4月末には回復いたしまして、桜の花につきましても、あまり時期を変わることなく遅れる事なく咲いてくれました。

また4月の初めの暴風雨でございますけれども、本荘で瞬間最大風速40mという事で記録されてございます。市内全域で皆さんもいろいろご覧になったと思いますけれども、大きな被害が発生してございます。公共施設、紫水館とか健康広場の野外ステージの屋根も飛んでしまいましたけれども、さまざまな公共施設の被害も受けてますし、また一般の住宅の屋根のトタンを剥がされる被害も、また非住宅につきましても多くの被害が出てございます。

特に農業用ハウスなど農林水産関係には大きな被害が発生してございまして、この暴風雨によります由利本荘市の概算被害額が出てございますけれども、8億3千万円を越えてございます。

このため、市では農業関連を中心にいたしまして、この支援体制作りをするという事で現在行っておるところでございます。

地域協議会の皆さんは、第2期目の委員の皆様で、任期はあと1年余りでございます。これから先も様々な地域課題を抱える事になる訳でございますが、総合支所長といたしましては、地域づくりの為に皆さんと手を携えながら、協力頂きながら頑張っ

て参りたいこの様に思っておるところでございます。どうか引き続きましてご親交ご協力を節にお願いする次第でございます。よろしくお願いいたします。

簡単でございますが、ひとこと、ご挨拶とさせていただきます。

黒木
振興課長

はい、ありがとうございます。

それでは、協議に入る前に資料の確認をしたいと思っておりますのでよろしくお願いし

ます。
資料1、平成23年度事業実績について。それから資料2、平成24年度追加事業について。以上資料になりますので、よろしいでしょうか。

それでは、協議に入らせていただきます。

協議の議長は、地域自治区の設置等に関する条例第9条4項の規定により松田会長が務めます。

よろしくお願いします。

松田会長

それでは、早速協議に入らせていただきますが、今日は地元出身の2人の議員さんにも参加していただいております。ひとつ、皆さんからいろいろな形で活発な会議にして参りたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

最初に議題の(1)平成23年度地域づくり推進事業、事業実績についてをお願いします。

村上主査

事務局より説明をいたします。朗読いたします。座って説明させていただきます。

資料1、1ページをご覧ください。“平成23年度「地域づくり推進事業」事業実績書”とあります。事業計画段階から委員の皆様は、ご承知の事と思っておりますので事業自体の説明については差し控えさせていただきます事業名、事業主体、実施期間、事業実施場所、推進事業費、実績書、合計金額等を朗読させていただきます。

(※資料1 参照 資料朗読)

事業実績については以上でございます。

松田会長	<p>はい、資料の説明が終わりましたところで、みなさんからご質問等お願いします。何かございませんか。</p> <p>それぞれ委員の皆さん方も関わっているようなので、例えば直接関わってこういうところが大変だったなとかありましたらお願いします。</p> <p>はい、佐藤さん。</p>
佐藤勝藏 委員	<p>私、子吉川源流事業をやっておりまして、一番の狙いは、いかにして河川にごみを捨てないかという事で、思ったよりも人が集まって盛り上がったなと思います。これを継続してやって行けば、何か効果が上がってくるのではないかと思います。ごみ拾いもあり人数が多すぎても良くないのかなと思いますので、これも地味にやって行きたいなと思います。よろしくお願いします。</p>
松田会長	<p>もう24年度にも出しておりますね。</p> <p>他にどなたか。</p>
松田会長	<p>事務局側に23年度の補助事業の総額はこの9事業で300万円に対していくらですか。</p>
村上主査	<p>はい、264万3千円です。</p>
松田会長	<p>246万3千円。まず、9割近い消化率ですね。</p> <p>他にどなたかおられますか。</p> <p>はい、三浦さん。</p>
三浦俊雄 委員	<p>8番の“春スキーガイドによる地域活性化事業”とありますけども、確か前回にこの事について若干質問させていただきました。</p> <p>定期的な見回り、また多くのスキーヤーが訪れることが期待でき、宿泊者の増加が見込まれるというふうな効果を狙っておる訳でありますけども、燃料費・借上料が大半であります、この定期的な見回りを行ったという事で、どの程度の整地された斜面にお客さんが入っているのか、またあわせて宿泊者がどの程度増加したか、概数でも結構でありますけども、その辺が多少でも把握できているのか、その辺をお伺いしたいと思います。</p>
村上主査	<p>はい、宿泊客数につきましてはこちらで把握はできてございません。ただ、堰口から山小屋付近まで、延べ64人のスキーヤーと登山客を運んだという報告がなされてございます。</p>
松田会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
三浦俊雄 委員	<p>はい、わかりました。</p> <p>その60人程度のスキーヤーを運んだという事でありますけども、そのことについては全て無料という事でしょうか。</p>
松田会長	<p>基本的にはいつも毎年来ているお客さんは決まっている訳ですから、このことによって何人増えたかって所が非常に事業の狙いな訳ですけども。</p> <p>わかる範囲内でお願いします。</p>
村上主査	<p>私が、前任者から引継を受けまして、無料という事で聞いてございます。</p>
松田会長	<p>わたしも思ってるんですけども、事業報告にはできれば「何人くらい来た」とかどういう実績、お金だけは入れますけども、その他があまり無いので特にお客さん</p>

	<p>に来てもらう事業のものは、その数を載せる様にしてもらえればと思うんですが、みなさんいかがでしょうか。</p> <p>もし、できましたらそういう方向も検討していただきたいと思います。</p> <p>他にどなたか。</p>
松田会長	<p>何かとまだ、反省するところもあるかと思いますけども、特別なければ平成24年度に移りますが、平成24年度の事業にも意見などありましたら出していただければと思います。</p> <p>次に進んでよろしいでしょうか。</p>
松田会長	<p>(2) 平成24年度地域づくり推進事業、追加事業についてを説明をお願いします。</p>
村上主査	<p>はい、事務局より説明いたします。</p> <p>資料2をご覧ください。</p> <p>(※資料2 参照)</p> <p>平成24年1月16日付けで鳥海地域の地域づくり推進事業につきまして、予算に対しますところの枠がかなりありますという事で、追加要望を募集いたしましたところ、ひとつの事業が申請をいたしまして、こちらの方に受け付けてございます。</p> <p>事業名が“笹子赤館古戦場探索調査研究事業”という事業でございます。この申請団体でありますけども、本日委員としていらしております佐藤勝藏さんが代表をされます“笹子赤館古戦場フォーラム”という団体からの申請になります。</p> <p>主な活動場所は、鳥海町上笹子目渡公園隣の笹子赤館古戦場という事です。</p> <p>事業期間を平成24年6月1日から平成25年3月10日としてございます。</p> <p>事業の目的が、湯沢市雄勝町横堀生まれの戸部一慇斉正直（トベ イッカンサイ マサナオ）が、元禄11年（1699年）に著した「奥羽永慶軍記」巻33の史実を基に埋もれている「笹子赤館古戦場」を探索調査し、世に出したいため。という目的であります。</p> <p>事業内容は1、笹子赤館古戦場探索調査に興味ある方を集う。</p> <p>2、上笹子目渡り公園隣の笹子赤館古戦場の探索調査。</p> <p>3、「奥羽永慶軍記巻33矢島旧臣等、笹子赤館の事」の基に関係古文書調査研究。</p> <p>4、探索、研究調査を纏めて発表する事。</p> <p>となっております。</p> <p>地域活性化への効果とございますが、有名な1600年の関ヶ原の戦いと笹子赤館の合戦が関連性があると言われている。その関連性を解き明かし、笹子地区に希望の燈を灯したい。</p> <p>事業総額が5万円、補助要望額が3万7千円という事でございます。</p> <p>事業計画、補助事業書、収支予算書、構成員名簿につきましては資料に掲載されている通りでございます。</p> <p>本日、代表の佐藤勝藏委員がお見えになっておりますので、朗読の方は割愛させていただきます。</p> <p>以上でございます。</p>
松田会長	<p>はい、幸い代表者がおりますので、何か補足する事があればお願いします。</p>
佐藤勝藏委員	<p>ここに書いてある通りでございますけども、私、かねがね思っていてまして、それで年賀状に笹子赤館を蘇らせたいというような事で書いている次第です。と言うのは、みなさんご承知の通り1600年関ヶ原の戦いと笹子赤館、その上杉家と徳川家康と石田三成との関連性、上杉家が石田三成についた訳ですけども、その関連性で隣町の雄勝町横堀生まれの戸部一慇斉正直という人がこれの事について江戸時代に書いてございます。立派な古文書がありますのでこれを基にして、少し研究をして、</p>

	<p>少しでも資料に書いている通り笹子地区へいっぱいあかりを灯したい。ふるさとをこんな風に言うのは非常に残念なんですけど、何かあかりが消えているなという感じている訳であります。</p> <p>少しでも笹子地区は歴史があるんだよという様な、ともすれば笹子仁左衛門がありますが、笹子仁左衛門はあまり追求すると矢島の方と何かうまくいかなくなるような感じがありますので。赤館は旧矢島の遺臣が残しておりますので…。だから私はこの金子阿部太郎（カネコ アベタロウ）と笹子の人間は悪人みたいな言い方を聞いているみたいですけども、実際は金子家は笹子にいる豪族ではなかったかなと。私の推測なんですけども、にかほ市の方に金子瓦という、今は亡くなっているんですけどもあの人達出身は湯沢町なんだそうです。多分、赤館の戦に負けた時に百宅の方から越えて湯沢の方に逃れて行ったのではないかなと、私のこれ想像なんですけども。そういう想像力も出て来ますので、それを追求して行ければなという事で、仲間を募って、調べて行きたいと思います。</p> <p>よろしくお願いします。</p>
松田会長	<p>いま、笹子の地域にひかりをという事ですけども、1600年というのは慶長5年でございまして、関ヶ原の戦いがあった年であります。その時に赤館で大井五郎が由利十二頭の自分以外の十一頭を敵にまわして戦ったというものでありまして、この者が清水湊の上の瀬目峠、あそこにも陣を張ってくい止めたけれども、岩倉を上がって行って瀬目に下りる所ですけども、そこでくい止めかねましてそこを破られて赤館まで攻められたと言う事でございました。</p> <p>非常に意味があるんです。その時の金子阿部が実は仁左衛門と関わっているのは、仁左衛門を攻めたのは、矢島の金子、あるいは小助川。その金子が今度、仁左衛門に関わりながら、笹子の慈恩寺を興しているんです。金子阿部を奉るために慈恩寺を興してるんです。その慈恩寺に仁左衛門が奉られているというなんか因縁があるので、非常に奥が深いと思いますので、ひとつ大いに期待したいなと思います。</p>
佐藤勝蔵 委員	<p>もう一つ、付け加えて。</p> <p>特に秋田の方からも、それは徳川の方に荷担した人達なんですけど、秋田からも来て、にかほからも来て笹子のあその所に5千人来たと、そう書かれております。</p>
松田会長	それは戊辰戦争ではなく。
佐藤勝蔵 委員	そうではなく、赤館で。戊辰戦争は違う。
松田会長	戊辰戦争の時は百宅が戦場になってます。
佐藤勝蔵 委員	そこに5千人。秋田からも来ている。
松田会長	<p>中世には赤館が古戦場になっている。</p> <p>いろいろと期待しながら、よろしくお願いします。</p> <p>他にどなたか、質問等ありましたら。</p>
松田会長	ちなみに24年度から補助額が7割になりましたけども、総額300万に対して補助額の要望がいくらでしょうか。
村上主査	当初、6事業に対しての支援予定額が137万7千円でございます、今回追加要望であります1件を追加しまして合計7事業で141万4千円となっております。

松田会長	<p>半分いかないな。残念だね。</p> <p>はい、という事だそうです。</p> <p>で、問題は追加について認めるか、認めないかであります。この地域協議会にかかっておる訳ですけども、いかがでしょうか。</p> <p>はい、三浦さん。</p>
三浦俊雄 委員	<p>5万円と言うのは私少ない気がしますし、来年度例えばあるいは今年調査して成果を何らかの形で提供していただくという様な依頼予定もあるものではないでしょうか。その辺をお願いしたい。</p>
佐藤勝藏 委員	<p>当初、金額を大きくしても、どれまでやれるかという今年いかに掛かっているかなという事で。まず、金額は少額でありまして、資料、一応は古文書が揃えておりますけども、周辺は雄勝町もありますし、矢島の詳しい方もいるかと思えます。</p> <p>それで、自分の事を言って悪いんですけど、佐々木久一郎も同級生で、あの人も歴史勉強家でございますので、あの人にも相談している次第です。</p> <p>そういう事で、今年は踏み台にして来年度あたりをもっと大きくしてやりたいなと。今年の成果によりまして、そういう事で考えております。</p>
松田会長	<p>今年1年では難しいなと思っておりますけども。健闘して成果を出してもらえれば。</p>
三浦俊雄 委員	<p>是非、大人も子供もわかり易いような発表ができるようお願いしたいと思います。期待しております。</p>
松田会長	<p>そうですね。これについては、前に原田先生が紙芝居を残しておりますので。他にもしなければ、これを24年度事業に加える事にご意義ありませんか。</p>
委員皆さん	<p>異議なし。</p>
松田会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>そういう事でよろしくをお願いします。</p>
松田会長	<p>次、3・その他ですけども、いつも各課長、施設長関係から連絡事項を含めましてその他の方をお願いします。</p>
周防彦宗 委員	<p>協議についた（3）でひとつ気になってたんですが。協議についてる（3）その他という事で。</p>
松田会長	<p>（3）その他という事でいいですか。そうすれば、（3）その他にもどります。お願いします。</p>
周防彦宗 委員	<p>私の認識不足で大変、恥ずかしい訳なんですけど、ちょっとお聞かせ願いたくてお話ししたいと思います。</p> <p>と、言いますのは昨日の魁新聞の中央の地域版の記事で「鳥海山フェスタ」というのが連休中に行われた様でした。</p> <p>それを市の方から7割補助で仕切ってやったという女の人コメントが載ってましたけれども、あれは地域づくり推進事業でやられたものだろうと私は思いました。その中でやられた人は本荘の人で、会場が鳥海でやられた様でした。その中で由利本荘市という事になっておりますが、地域づくり推進事業のお金は各地域ごとにあるはずなんですけど、申込者・会場・いろいろ区分などはないものではないでしょうか。</p> <p>除雪もしながら大変無理してやった様な記述があったようで。</p>

佐藤明美 委員	旦那さんが矢島出身で、小番さんという方です。（小番直人さん）
松田会長	矢島の事業ですね。矢島の地域協議会でやった…。
周防彦宗 委員	そのはっきりとした区分めいたもの、はっきりしたラインがあるのであれば、お聞かせ願いたいと思います。
佐藤明美 委員	広報の何月かにちらっと載ってました
周防彦宗 委員	昨日の新聞でなく…。
佐藤明美 委員	昨日の新聞では無く、広報に出てます。
松田会長	予告も出してます。
佐藤明美 委員	予告。でも、ああいうものだと相当、難儀したと思う。
真坂好喜 委員	我々の地域協議会の予算使ったという事は書いて無かったけども。 そうは書いてはないけども、市の補助っては書いてあった。
佐藤明美 委員	市の補助、7割。
松田会長	矢島町の地域協議会の事業です。
佐藤明美 委員	そこいら辺、わからない。
周防彦宗 委員	矢島とも書いていなかった。
佐藤明美 委員	書いてはなかった。いま、本荘に住んでいるけども。
松田会長	小番さんて荒所ですよ。 本荘の荒所に住んでいまして、あの人の旦那さんが矢島の新町出身で、スノーボードのインストラクターをやっていて、そういう関係でサーフィンからスノーボードに切り替えてイベントを組み合わせたみたいですけども。
佐藤明美 委員	頑張ったなと思ってる。私はただちらっと見ただけですけども。
松田会長	わかる範囲内でいいです。
周防彦宗 委員	その地域地域の地域づくり推進事業のちゃんとした区分があるのであれば教えていただきたいなと思ひまして。

眞坂好喜 委員	この前の地域協議会での事務局の説明では、その開催場所と例えばNPOでスノーモービル云々の質問した時に…。
周防彦宗 委員	鳥海のところにあるから、個人のものもちゃんとライン区別なってる訳なんだけど、この件については、いまいわかりづらいと。
佐藤敬助 委員	あの新聞を見る限りでは、地域づくり事業の資金を使ったとは書かれていない。どういうルートの資金を使ったのかわからない。
周防彦宗 委員	7割と書いてあったから。
佐藤明美 委員	若い人たちはインターネット中心でやって直接申請したのではないか。
松田会長	7割というのは。24年度事業は7割となっており、23年度事業ならば9割。
周防彦宗 委員	24年度事業だと思った。
松田会長	これ、矢島地域協議会と連絡をしてもらい確認してもらってもいいですか。
周防彦宗 委員	この事業の区分みたいなの、しっかりしたラインみたいなのを知りたい訳です。
榊 総合支所長	区分というよりこれは今、周防さんが質問したのは、どこの人がどこで実際、事業をやるかですね。
周防彦宗 委員	それは鳥海地域の場合はあまり海に触れると言う事がないものだから、例えばマリーナの辺りで何かやってもいいのかなとか、そういう事も考えたりしたものだから、区分めいたものがあったら教えていただきたいという事です。
榊 総合支所長	きちんとしたものはないのです。 本荘の人が矢島でやったり、鳥海猿倉口でやったり、今までそういうのが無かったものですから、これからもしかすれば決めていかなければいけないかなと思っておりますけども。
眞坂好喜 委員	鳥海の人が本荘にポンっといきなり申し込める訳にはいかないでしょう。 例えば矢島に申し込んだり、由利町に申し込んだり。眞坂好喜で申し込んでも常識的にダメでしょう。
榊 総合支所長	それは眞坂さんが本荘で、本荘の仲間の人達と一緒にやるとなれば、拒否されるものでも無いと思う。
周防彦宗 委員	何か、そういうまとめたもの欲しいですね。
委員皆さん	そうですね。
榊 総合支所長	そうすれば、本庁の方に相談してみえます。

松田会長	<p>今まで、地域協議会では越境関係はあまりございませんでした。それから地域協議会の正副会長会議、年に１回しか開催しないんだけど、その時もその問題が出てきたので、これからの課題の様な感じもしますが。</p> <p>そういう事で、よろしいですか。</p>
榊 総合支所長	<p>はい、早めに出します。</p>
松田会長	<p>他にどうぞ。</p> <p>はい、明美さん。</p>
佐藤明美 委員	<p>戻ってしまつての質問で申し訳ないのですが、２３年度事業の八王子でやった時にあきたこまちを250袋、金額67,500円ですけども、こういう時に市町村の事業なんだけれど、あきたこまちをPRするんだったらJAさんのご厚意を貰ってもいいんじゃないのかと。もし、どこかでまたやると考えられるので、事業に協賛とかじゃなくて寄付を貰うというのか、金額この程度だったら貰えるんじゃないのかなと思ったんですけど。</p>
眞坂好喜 委員	<p>我々、一昨年東京に行った時、JAから預かってアンテナショップで配って来ましたよ。</p>
佐藤明美 委員	<p>予算が無いものでやるものだから、他のものにお金を使って貰えるものはJAさんにも寄付して貰えれば、そういう考えはどうでしょうかと言う事でした。</p>
松田会長	<p>結果的には旅費にかかるんだよなあ。</p> <p>これ24年度も継続ですか。</p>
高橋美幸 委員	<p>24年度は、申請していないです。</p>
松田会長	<p>実は24年度、まだ半分に至っていないと。非常に残念だなと思う。</p>
眞坂好喜 委員	<p>これ、24年度はあと募集は終わりですか。</p>
榊 総合支所長	<p>この件については、他のところもいろいろと一緒に協議したのですが、再募集はしないんですけども、年度途中で申請あった場合、鳥海みたいに予算額満額いってないところは、年度途中でもそれに該当するものであれば採択しましょうとなっております。</p>
眞坂好喜 委員	<p>なんで、たんだんと100%で無く7割といいますか、落ちてきたのですか。</p>
榊 総合支所長	<p>これについては、市の補助金の適正化に関する条例がある訳でありまして、この条例について、例えば1/3、1/2、市長が認める額という、何分の1の無い額がある訳なんです。1/3、1/2、市長が認める額の3本立てな訳なんですけども、その中で市長が認める額の中の、私達としては10割補助の対象事業を始めたんですけども、こういう条例がきちんとあるのにその中身が全部、市長が認める特別、その市の市政に振興発展に多大な効果がある事業が全部だなど、いろいろな議会でもありますし監査委員でもありますし、いろいろなところから意見がある訳なんです。</p> <p>全部が10割補助に該当するものではないなと私達も認識ありますので、じゃあこの中に合わせて、本当は1/2を1/3にしたいんですけども急にそんな事を言ってもや</p>

	<p>れる人がいなくなりますので、まずそれに行く前段階として7割補助にさせてもらって、他のものについては9割補助の部分も、それもひとつ思ってまして、100%補助というのは無くした訳です。そういうきちんとした条例がある訳で、当然すぐ事業は直していかなければならないので、精査した中から落ちてきてしまったという訳なんです。ご理解お願いいたします。</p>
松田会長	<p>補助額は上の方で決めるものだからわからないという事ですね。</p>
佐藤勝蔵 委員	<p>ちょっと私、勉強不足で目渡公園は、無くなったのですか。</p>
榊 総合支所長	<p>公園自体がですか。私、ちょっとわかりません。誰かわかりますか。</p>
佐藤勝蔵 委員	<p>と、言うのはあそこの桜、今散って来たけども、この間町内会の総会の時話が出て、もう少しきれいにした方がいいのではないかという話が出たものだから、先ほど言った様に補助金がもし余っている様であればそのあたりお願いしたい。</p>
菊地 振興課主席参事	<p>私の方から説明申し上げます。 合併前の鳥海町時代は老人クラブの方に維持管理をお願いしておりました。それで、合併と同時に補助金がカットされまして、今は誰にも委託しておりません。 その関係で“目渡公園”と言う名前は残ってはおります。但し補助金カットのために荒れ放題になっているという事は事実であります。 以上です。</p>
佐藤勝蔵 委員	<p>桜が良く咲いておるもんだから。</p>
松田会長	<p>その公園にどの程度人が来て憩うかっていう事ですね。</p>
佐藤勝蔵 委員	<p>整備していれば、今荒れ放題だから。 見てきたけど荒れ放題。</p>
松田会長	<p>これある意味では、補助対象に目鼻つけれる可能性があると思う。</p>
佐藤勝蔵 委員	<p>目渡公園、非常に桜が綺麗なんです。</p>
松田会長	<p>今、榊さんからこれで鳥海の場合打ち切った訳ではないという事なので、いい案があればお願いしますという事なので。</p>
佐藤重一 委員	<p>あのですね、ちょっと確認したいんですが、私のわかる範囲で2つ程お願いしております。 補助額の決定通知書も頂いているわけなんです、花の事業ともう一つやっているのですが、例えば花の苗を発注する際、果たして補助金がかかるのかこないのかと、こういう心配もあるんです。ただ、決定通知書の時点でOKという事であればいいのですが、今植える時季になってきていまして、進めていいのか、疑問がある訳なんですよ。 今回は先に出した書類が書類不備という事では無いんでしょうけども、そのやり方が交付の仕方が変わったと改めて出したのですが、決定額が来た時点で事業は入ってもいいよという事なのか、先ほど言った通り補助金を私達、非常に心配してる訳なんですよ。</p>

	<p>だから、花の苗を発注するのもまだ足踏み状態な訳なんです。決定通知書の時点で事業に入っているのか、そこいら辺を確認したいと思います。</p>
榊 総合支所長	<p>今、佐藤重一さんの質問ですけども、当然その時点で事業着手していいわけでありまして、前お話ありました、変わりましたのが補助金制度に関する指針ができて、今までと変わったところは、事業実施前、実施中に補助金の申請をすれば今までは補助金全額貰っていたんですが、その指針によりまして今年度から事業前、事業実施中に請求する場合は、8割しかお金を入れません。それで事業報告後に残りの分が精算される形でありますので、今までみたいに全額、50万なら50万を事業中に最初から事業者にとっくり全額はいきませんので8割、残額については実績に基づいての精算というふうになりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>まあ、やる方としては最初に自前で立て替えて置かなければならない部分も出てくるかもしれませんが。何とかそこは決まり事ですのでよろしくお願いします。</p>
松田会長	<p>いずれにしても事務局とよく相談しながらお願いします。</p> <p>他に。</p> <p>はい、佐藤さん。</p>
佐藤敬助 委員	<p>今、総予算額の半額に満たないという事である意味ではちょっと残念だなと。そう言いながらも自分でも格別いいアイデアありませんので、そこいら辺は困惑しているところなんです。</p> <p>ただ、今回の資料1の中で人数とかその成果、報告書の方で出していると思うから、その内容を添付すればある意味ではそういう内容を見られるんじゃないかなと思います。</p> <p>それに付け加えてですけども、ある種の事業によっては前にもお話ししたけども、一過性のもので一度投資すれば、やれば設備と言いますかそういう種類のものもありますし、継続的にやらなければいけないものもあると思います。そのひしめき合いと言いますか、そういった事の…。願わくば費用対効果が要求されると思いますけども、必ずしもやったからすぐ成功という事にもならないと。そう簡単なものも無いと思いますので、長い目で見て頂くものも逆に必要だと思いますけど。</p> <p>そこいら辺の見極めもしながら、算定してもらえればと思います。</p>
榊 総合支所長	<p>はい、わかりました。</p>
松田会長	<p>はい、事業というのはそう簡単にはいかないという事を実際やってみればわかるものですから。</p>
真坂孝衛 委員	<p>簡単ではないし、今年は7割という事で、やりづらくなった。</p>
松田会長	<p>だから、嫌煙されている。</p> <p>結局、3割は自分で出さなければいけないという事なんで。</p> <p>なにもかにも事業ができないと訳ではないのですが。</p> <p>やはり、3割負担できるような体制の、例えばお客さんからの入場料負担のものでなければなかなか難しくなってきたと言う事は事実ですね。</p> <p>これは、市当局でどう評価するかですね。</p> <p>いいですか。他に、その他。</p>
松田会長	<p>なければ、3のその他で各課長、施設長関係から連絡事項、報告等ありましたらお願いします。</p>

黒木
振興課長

振興課の方から二つ程お願いしたいと思いますが、一つ目は耐震補強工事がこれから始まりますけども、事務室の職員の配置が変わります。現在、振興課の所で耐震補強工事が始まりますと壁ができますので、事務室の移動が入りますけども住民のみなさんには支障の無いように進めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いします。

もう一つは第2回目の鳥海地域協議会は7月頃実施したいと考えておりますので、ひとつよろしくをお願いします。

佐藤
市民福祉課長

市民福祉課から事務連絡と言う事で4点程お願いします。

一つ目が先日行われました鳥海地域のクリーンアップ活動でございますが、例年でありまして4月の最終土曜日という事で実施しておりました。今年も豪雪のため、雪消えが遅れまして5月6日延期させて頂きまして実施しました。

鳥海地域全集落で実施いただきました。可燃物におきましては750kg、不燃ごみにつきましては1,090kgの収集を頂いております。

なお、昨年は可燃物で450kg、不燃ごみで1,070kgという事でありまして。

二つ目が災害時の要援護者台帳の配布についてであります。

平成22年度から調査いたしておりました災害時の要援護者台帳であります、この度完成いたしまして3月中であります、行政協力員と民生委員の方へ配布しております。

今後は災害時、要援護者のみなさんの支援のために活用頂くという事になると思います。鳥海地域では2月末ではありますが、対象者が431人中235人の支援の希望者がありました。

3つ目でありまして、災害弔意金の支給等に関する法律についてであります。

本年は、ご承知の通り豪雪でありまして、1月に除雪作業中の88歳のおばあさんが誤って川へ転落して、死亡する事故が発生しております。この事故に対しまして国の災害弔意金支給等に関する法律の適用を受けまして3月中に家族に対しまして災害弔慰金が支給されておりますのでご紹介申し上げます。ちなみに、支給額でありますがこの法律によりまして世帯主の場合は500万円、その他の方については250万円というふうになっております。

4つ目でありまして、災害廃棄物の広域処理についてであります。

3月24日の災害廃棄物燃焼試験の実施にかかる住民説明会が開催されまして、清掃センター近隣の5町につきましては矢ノ本、興屋、沢渡向虎杖平、上原、オノ神上原であります、13名の出席をいただいております。

それ以外の鳥海地域の方、32名。鳥海地域以外からの出席者も18名。63名の参加をいただいております。

燃焼試験の予定については、当初5月上旬という事にしておりましたが、この後市長の現地視察が14、15日に予定しております。その後、手続き等を経まして6月中旬になる予定とっております。

以上が市民福祉課からの事務連絡とさせていただきます。

新田
産業課長

産業課からは2件程でありますけども、県内の暴風災害につきまして県と市の方で補正予算が改定されておまして、農業用地災害関係でありますけども、パイプハウスあるいは畜舎の補修等であります。これに対しまして県が1/3、市が1/3と。それから農業生産施設用パイプハウス等の適正処理に対しまして市から1/3と、というような形でいろいろ区分が分かれておましてこれにつきましては、この後の5月15日午後にその詳細が掲載されます。それをもちまして、いろいろ農機関係の申請等の手続きを行いたいと思っております。

生産施設等暴風災害復旧事業の他に暴風被害復旧支援資金というのが創設されまして、2.65%の利子補給を行いまして実質、年利5%の災害復旧資金も創設されておりますので、このあたりにつきましては今後詳細をお知らせしたいと思います。

それからもう一つ、新緑まつりの件であります。例年6月の第1日曜日、6月3日の予定でありましたが、暴風災害に健康広場の野外ステージの屋根が飛ばさ

	<p>れ、その復旧に時間が掛かりまして今年は6月の第2日曜日、6月10日に開催する事になりました。</p> <p>これにつきましては、市のホームページにあげておりますけども、後程詳細につきましてはお知らせいたします。</p> <p>以上、2件になります。</p>
松田会長	<p>災害の補助金も5月中に目途がつくという事で。</p>
新田 産業課長	<p>5月中に確定しまして、閉めきりは6月下旬になるのではないかと。事業執行ははだいたい11月末。罹災については年度末を予定しております。</p> <p>倒壊の場合は特にパイプハウス等の被害が十数件あります。農機具の被害につきましては暴風被害復旧支援資金という形でお願いします。</p>
佐藤 診療所事務長	<p>診療所からはありません。</p>
松田会長	<p>他にありませんか。</p>
村上 主幹兼鳥寿苑 施設長	<p>はい、鳥寿苑から。</p> <p>4月から鳥寿苑それから悠楽館の館長を任命されております、村上一弥です。よろしく願いいたします。</p> <p>私の方からは二つ程お願いしたいと思います。</p> <p>前回もお話しておりましたが、鳥寿苑の大規模改修が4月20日実施設計の契約を致しまして、今始まっております。</p> <p>その関係で降雪前までには完了したいなと思っております、毎年敬老会、夏まつりを実施してる訳ですが前倒しで工事が始まる前にやりたいなという事で6月29日に鳥寿苑の敬老会、7月20日に夏まつりを実施したいと考えておりますので今後ともよろしくお願いしたいと思います。</p> <p>もう一つは、これも前回お話しておりますが、県の緊急雇用の関係でヘルパー資格を取れるという緊急雇用がありまして、2人の枠がありましたが今実際1人来ております。もう1人募集している訳なんですけどもなかなかいなくて、みなさんそういうご紹介ありましたら教えて頂きたいと思います。</p> <p>以上です。よろしくお願いします。</p>
三森 教育学習課長	<p>教育学習課からですけども、前座でお話ありましたけども4月3日から4日にかけての爆弾低気圧の関係で、うちの方の管轄の建物が大きく壊れたのが3軒あります。</p> <p>まず一つは、紫水館の多目的ホールの屋根でございますけども、1ヶ月間多目的ホールを使用出来ませんでしたけども、昨日完了しまして使用出来るようになりました。</p> <p>もう一つは、川内小学校の屋根でございますけれども、それも明日完成検査予定でございます。</p> <p>先ほど産業課長の方からもお話ありましたけれども、その関係で健康広場の野外ステージでございますけれども、新緑まつりは例年ですと6月第1日曜日に開催予定でしたが、壊れた関係で6月第2日曜日に変更ったと。昨日工事を発注しまして、6月10日までの屋根の改修を終えたいと思っております。</p> <p>それから、統合小学校の建設の進捗状況でございますけども、昨日現在で建築のほうは23%、それから電気が25%、機械の方が12%の進捗率でございます。</p> <p>この学校建設におきましては24年度中に中学校の改修、環境整備、プールの工事を実施する訳でありますけども、完成するまでみなさんに大変ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いします。</p> <p>以上でございます。</p>

小沼 鳥海・矢島 水道事務所長	<p>水道事務所からですけども2点程連絡いたします。</p> <p>1点は、昨年から引き続きやっております石綿セメント管の更新事業でございますけども、今年度も実施しまして国道108号線から針水の入口、それから上台まで更新予定であります。</p> <p>あと、もう1点ですけども昨年から料金の方も統合なりまして、今年が2年目という事で若干ですけども使用量によって、また水道料が安くなりますのでその辺もよろしくお願いします。</p> <p>以上です。</p>
松田会長	<p>各課からは以上であります、その他が二つあるので混同しますけども、もしまだありましたら出して頂きたいのですけども。</p>
周防彦宗 委員	<p>コミュニティバスの関係の事でお話させていただきます。</p> <p>と、言いますのは先般、笹子の人とお話した中で、地域協議会がありますよと言ったら是非話してもらえないかという事ですが、まず一つは乗り換えがあるために紛らわしいという話でした。と言いますのは久保、伏見、鎧ヶ平、JAを出て菜らんどまで来て、そこで乗り換えをしてまた太平工業さんの前を通って伏見、鎧ヶ平と行って矢島に向かうそうです。そこをグルグルと回ってるらしいんです。</p> <p>それで、やはりいろいろ羽後交通さんの関係もあるのだろーと思いますが、もし出来れば矢島駅まで通して乗れるのであれば便利だなというお話でありました。</p> <p>料金の方、私わからないのですが菜らんどまで200円で来て、菜らんどから矢島まで四百なんぼ、だそうです。</p> <p>料金は倍で距離は近い様な事を言っておりました。</p> <p>羽後交通さん、片方は会社なものだから、どのように進めているかわからない訳ですが、お願いとして話していたのはコミュニティバスが矢島駅までそのまま行けるようであれば助かるというふうな事でした。</p>
松田会長	<p>簡単に言うと、それは羽後交通が伏見矢島間を撤退すれば可能だけれども…。</p>
周防彦宗 委員	<p>お客さんも伏見から鎧ヶ平までは手を挙げて乗せてもらえればいいのだけれども、営業路線もあるものだから、そこが紛らわしいようで。</p>
松田会長	<p>これは国土交通省、陸運局の関係なようで絶対無くない。</p>
周防彦宗 委員	<p>矢島の営業所まではわからないけれども伏見までの間は市の方から羽後交通さんに補助金なんか出てるものではないでしょうか。</p> <p>このままコミュニティバスで矢島駅までそのまま乗り換え無しでできれば非常に助かるようなお話でした。</p>
松田会長	<p>今、羽後交通さんで組合病院まで直通のバスありますか、矢島で乗り換えですか。</p>
榊 総合支所長	<p>あります。</p>
周防彦宗 委員	<p>まあ、お願いみたいな話でした。</p>
松田会長	<p>これ、可能性のない話で、陳情して出してもいいけどこれは全く不可能な事で、すぐ却下されるものですから、最初からわかっていて出す訳にはいけないと思っています。</p>

周防彦宗 委員	出来ないのは出来ないと言ってもらえればいい。
松田会長	絶対にダメです。
真坂孝衛 委員	（羽後交通さんが）来れないと言え、すぐ出来る。
佐藤勝藏 委員	高原鉄道乗客、少ないと言っているから、その辺り直接あそこ（矢島駅）まで行けばコミュニティバスに乗る人も増えるんじゃないかな。そういったあれが補助金出すというのは何が無駄事やってるなと実は思うんだけども。
松田会長	コミュニティバス乗ってる方も農協に用事がある人もいるものだから、それはそっちの身上きてるから、グルグル回っている訳なんです。
真坂孝衛 委員	農協に用事ある人達とそれから組合病院の再来受付機がある訳で、それで農協まで行くようになった。
松田会長	まず、辛抱するしかないと思っております。 他にないですか。 これは後で事務局の方から。
佐藤勝藏 委員	市民福祉課長さん、いいですか。 粗大ごみは要項通り影響ないですよ。
佐藤 市民福祉課長	はい、今年は例年通りに5月27日に行いたいというふうに思っておりますので、よろしくお願いします。
松田会長	他に無ければ協議の方は締めたいと思いますけども。 今日は、勉強会を含めての協議会でしたけども、いろいろありがとうございました。以上をもちまして協議の方を終わります。
黒木 振興課長	ありがとうございました。 これをもちまして第1回鳥海地域協議会を終了します。

第 1 回鳥海地域協議会

平成 2 4 年 5 月 1 0 日（木）
午前 1 0 時 3 0 分～ 講堂

事務局

総合支所長 会 長 副会長

議 員

佐藤 重一

柴田 恭一

佐藤 勝藏

佐藤 敬助

鈴木 充

周防 彦宗

佐藤 明美

レコーダ

三浦 俊雄

佐藤 貴子

高橋 美幸

三森 宏美

鈴木 誠

眞坂 好喜

藤山 信夫

振 興 課 長	市民福祉 課 長	産 業 課 長	鳥海診療所 事 務 長
------------	-------------	------------	----------------

主幹兼鳥寿苑 施設長	教育学習 課 長	鳥海・矢島 水道事務所長
---------------	-------------	-----------------